

# 第10回 ジュニア・エコノミー・カレッジ inあいづ

第10回ジュニアエコノミーカレッジ in あいづは、市内小学校8校から25チーム、125名の参加により実施。7月24日会津大学において、ドリムセミナー・サポーターセミナーを開催。9月11日・12日磐梯山温泉ホテル リゾートイン磐梯でのアクティブセミナーでは、商売や帳簿について学び、実際に販売するにあたってのドリームボード等を作成した。10月30日・31日会津ブランドものづくりフェア特設会場において、悪天候の中、子供たちが準備した商品を販売し、商売を体験。11月6日会津大学において、まとめセミナー・決算発表会を開催。販売実践で出た利益を計算し、株主配当や役員賞与の計算を行った。11月27日会津大学において、納税式・表彰式・修了証書授与式を行った。納税式では、まとめセミナー・決算発表会で計算した利益の一部を仮想税金として、菅家一郎会津若松市長に手渡した。修了証書授与式では各チームの社長が、会社を代表して、修了証書を受け取った。表彰式で、銀行賞・証券取引所賞・準グランプリ・グランプリの表彰を行った。受賞会社は、次のとおり。

〔グランプリ〕  
 (株)Shushu Maron (ザペリオ学園小A)  
 (株)ハビネスシンフォニー (東山小A)  
 (株)ひまわり (日新小B)  
 (株)JOKER (二箕小A)  
 〔銀行賞〕  
 (株)ハニー&クール・クローバー (東山小B)  
 〔チャレンジ銀行賞〕  
 (株)ドゥリームカムトゥルー (謹教小B)  
 〔きびしい銀行賞〕  
 (株)HAPPYフレンズ (日新小A)  
 (株)ドリム龍 (日新小E)  
 〔素晴らしい証券取引所賞〕  
 (株)レインボーSmile (日新小D)  
 〔がんばる証券取引所賞〕  
 (株)友會堂 (城西小D)



9月11日・12日 磐第山温泉ホテル リゾートイン磐梯



10月30日・31日 会津総合運動公園 「会津ブランドものづくりフェア2010」 特設会場



11月27日 会津大学

アクティブ  
セミナー

販売  
実践

納税式・表彰式  
修了証書授与式

## 「鐘の鳴る街会津」

平成22年9月22日(水)  
 23日(木) 17時~17時30分、鶴ヶ城鐘撞堂他市内寺院8ヶ所において鐘を打ち鳴らす事により、市民や観光客に対し情緒ある城下町の雰囲気を作り出しました。

我々市民が「伝都会津」という会津の魅力、資産の再発見をするともに、観光客にも鐘撞きを体験していただいた事で、会津の思い出づくりの一助となったと思います。保険の都合上、鐘を打ち鳴らした人々からは、住所・氏名を記入していただいたが、遠方から来ている人が多い印象を受けました。鐘撞きをしたご高年齢の男女からは、非常に良かった。会津に来て正解であった。

これで三途の川が渡れるなんていうお声もいただきました。縮してしまいました。また、今回は参加者に対して真部直前会長より、鶴ヶ城と鐘についての歴史等の講話をいただき、好評を得ました。傍らで聞かせてもらいましたが、話が上手なもので思わず涙ぐんでしまいました。

当日の参加者は会員37名、観光客等約70名、合計107名と大人数でした。ご協力いただきました方には厚く御礼申し上げます。

## UWABAMI 放浪記



とても尖閣どころではない。オイラの長い人生の中で、高校以来久しぶりの小遣い制に仕分けられてしまった。火の車は何も霞ヶ関だけではない。(実は民間の方がはるかにヒッパクしている。うん、マチガイナイ) 事実、仕分けられてしまったオイラの財布はダイエットの如くホッソリしてしまった。でも、このオイラの魅力的なシモフリ体型を維持するためにはインジでもマチニ出る! たら出る。(たのダッコじいじだ。...) どうせインジ張るなら美味しいもん食いたい! 癒されたい!

狂ったナツが嘘のやうに、ピンとした空気のタンガレ若松スラム街をインバシジヤリで出撃する。やがて、真っ白になるであろうサカエ町をひたすらノ・ボ・ルって感じ。

(だって、下町から神明ドオリまで5mも標高差があるらしい。...)

大手居酒屋チェーンを左に折れると、そこはかつて栄華を誇ったエイガカン街そしてオイラの憧れだった、○崎屋の裏に出る。キュッと、おもむろに右にオレル! オイラ二人がやつとすれ違えそうな路地を行く。チャリが軋む。

お・か・ま・い・な・し! 灯りが見える。暖簾が見える。渾身のブレキ!

(このチャリ、オイラの元に来たばっかりに短いイノチダナ。...)

(ガラリッ!)「イラッシャイ」中音で張りのある女将の声がする。しかも美麗だ。真つ先にカウンターをウカガウ! 「大丈夫だ!」どっかのドリフではない。女将である。(むしろアネゴだ。実際オイラは彼女に親愛をこめて「アネ」と呼んでいる)

「何かあった?」オイラが一人で行くとお決まりでこのセリフが出る。

「いや、美味しいもん食いに来た。」「ふーん、じゃ座つせ。」このカウンターはシキイが高いと誰かが言っていた。事実オイラも二回くらい女将にタシナメラレタ。でも、愛がコマッタ言葉は素直に聞ける。もんだ! だからまた暖簾をくぐる。そんなもんだ。「まずは麦酒」細身のグラスに丁寧に注いでくれるビール! のど越しはコレノコト。すーっと入る。(これ大事!) この店は季節モン食わせたら絶品! 定番ばっかだけど、大女将のこれまたアイのこもった一品が出る。今日のオトオシは厚揚げと大根のニモノ。塩加減、固ざわりドンビシャ! ナンパーアツアツ。「あじの一夜干し下さし」「はいよ」アツアツが出る。適当に身の下さした大きめの鰯がキレイに開かれて「ドウゾ!」と言ってるやうだ。「くろーっ! あんまし旨いとこれしかコエない。干されて凝縮した旨味が身からジュワッって滲み出てくる。ココロにも沁みてる。」

「シンソバ出たぞ」女将の手打ちである。「勿論!」そのコトニハ泉川のモッキも早や三つ目だ。絶妙な園たえと、ツユの出汁が口の中でソバの香りと一緒にふわっとヒロガル。「アネのそばは男ソバだねえ?」「性格がオトコだって言いつつだねえ」「いやあ、オンナでこのソバは中々打ってねえって意味!」「ほんとは、そばに性格が出るんだよ。」すっかり、個人事業仕分けの事なんかすっかり忘れちゃって、女将の説法を心地良く聞いている。